

事業所名 ニコニコCamp (放課後デイサービス)

## 支援プログラム (参考様式)

作成日 R7 年 2 月 20 日

法人 (事業所) 理念	スローガン: わくわくな心とかがやく笑顔に、きみはなれる。社会への使命子育てしやすい共生社会の実現のため、つながりと愛情で満ちた幸福の追求をめざす。お子様にはひとりひとりの個性や特性を尊重し、からだを動かす楽しさや、自然との調和や体験を経験することで、自身の成長する喜びを感じてもらいたい。ご家族様には「この会社があってよかった」と思われる存在になるために、地域社会とご家庭をつなぎ、一緒に支え合いながら、安心と信頼のサービスをお届けします。地域社会には柔軟な発想と遊び心で、新たな価値や資源を見つけ、地域を支える人づくりや町づくりに貢献していきます。					
支援方針	運動と感覚に特化したサポートを感覚統合リハビリテーション・感性と個性を活かす生活や保育の活動プログラム・食育と自然の調和を生きる力や健康なココロをサポート					
営業時間	9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	自分で自ら調理することや、おいしさを感じることで、食に対する関心を増やす。また自宅での生活面の自立を目指す。おやつづくりを通して、自ら調理していくことの大切さや、家でのお手伝いを想定したことができるようになることを支援していきます。苦手な食べ物を克服していくように少しずつできるように食育していきます。食育を通して、自己管理能力を育み、自分で適切な食事選択やルール、マナーができる基礎を作る				
	運動・感覚	感覚刺激に対する過敏さや鈍感さを調整し、自分の体や環境に対する適切な反応を引き出す。遊びや運動を通じて、姿勢保持や運動計画能力を向上させる。室内のアスレチックを通して、感覚統合としての運動特に、前庭感覚や固有感覚の活性化を意識したプログラムを行う。また眼球運動やバランス感覚といった身体のコーディネーション運動も取り入れる				
	認知・行動	お友達と交流できる時間を指定して、小集団の中で主に運動プログラムを通して、交流を行います。非認知的能力を育てるような、プログラムを企画していきます。感情の表現や、他者関係や距離感などのソーシャルスキルのプログラムを行なっています				
	言語コミュニケーション	保育士による小集団療育 (少人数のグループ (2~5人程度) で活動を行い、子どもたちが社会性やコミュニケーションスキルを身につけることを目的とした療育の形態です。SST・感覚遊び・ごっこ遊び・食育活動/ 保育士が主導し、子どもたちの発達段階や特性に応じた遊びや学びの機会を提供します。				
	人間関係社会性	運動プログラムやイベントなどの交流するプログラムを実施するなかでお友達との交流を行います、集団活動や他者とのやり取りでのスムーズな関わりを目指す。また野外活動や自然との触れ合いなどのグループ活動を行う				
家族支援	子どもの行動理解と適切な対応方法の指導、感覚統合や言語支援の状況を報告する、社会的スキルの家庭内実践方法の提案、心理的サポート保護者の相談対応 感情表現のサポートやアトリエプログラム支援、家族間のコミュニケーション	移行支援	日常的な連携に加えて、特に行事等の際、説明の方法や促し方について共有を図ることでスムーズに学校生活を送ることができるように、日常的な対応方法や関わり方のモデルをしめす。学校との連携を密に行い、連絡方法や情報共有を行い、保護者と学校機関を繋ぐように支援する			
地域支援・地域連携	教育・療育関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。連携会議や情報共有を定期的に行い、役割分担を明確にし協議する。 具体的な子どもとの関わり方や支援方法などを共有する	職員の質の向上	新入職員研修・スキルアップ研修・防災・衛生・安全管理に関する研修・個別支援会議			
主な行事等	地域交流を含めたイベント、夏休みのプール・川遊び・ドッジボール大会・ミニ運動会・保護者会など・事業所での合同イベントを企画					